

給付奨学金継続願(編入学／認定専攻科・認定専攻科進学) 表面 【記入例】 (抜粋)

※記入の際、特にご注意いただきたい箇所を抜粋して説明しています。確認のうえ記入してください。

◆共通の注意事項

(共通)提出確認シート、(共通)様式7資料表、(共通)様式7資料裏及び本紙をよく読んでから記入を始めてください。
漏れなく、楷書でていねいに記入してください。読み取りづらい場合、誤った情報登録される可能性があります。
黒又は青のボールペンで記入してください。鉛筆、シャープペンシル、消えるボールペンは使用できません。

◆基本情報

●「本人が氏名」、「本人漢字氏名」

左詰めで記入し、「姓」と「名」の間は1マス空けてください。1マスに1字記入してください。
カガ氏名欄は、濁点(・)、半濁点(゜)、拗音・促音(ワ・フ・ユ)等も1マス使用してください。
制限文字数を超える場合は、書けるところまでを記入してください(氏名が途切れていてもかまいません)。
ミドルネームは、名とつけて記入してください。
カガ氏名は、振込口座の口座名義人と同一のカガ氏名を記入してください。

●「生年月日」

必ず西暦年形で記入してください。
(例) 2002年5月1日の場合→ 2 0 0 2 0 5 0 1
※生年月日以外にも年月日の記入欄があります。上記の例を参考に記入してください。

●「支給を受けていた奨学生番号」

編入学前・進学前の学校で支給を受けていた給付奨学生番号を記入してください。
貸与奨学金番号は記入しないでください。

●「性別(任意)」、「国籍」

該当する数字にマルを付けてください。性別は任意のため未記入でも構いません。

●「本人現住所」

現在住んでいる住所を記入してください。自宅外通学の場合は、下宿先の住所を記入してください。

●「在留資格」

国籍が「日本以外」の場合のみ、該当する数字にマルを付けてください。

●「永住の意思」

在留資格が「定住者」「家族滞在」の場合のみ、該当する数字にマルを付けてください。
「0. なし」を選択した場合は、給付奨学金の継続ができません。

◆学校情報(編入学後・進学後の学校)

●「修業年限」

何年課程の学部・学科等か記入してください。あと何年通うという意味ではありません。
(例) 2年課程の場合は「2 0」、4年課程の場合は「4 0」(「0」は印字済み)。

●「学籍番号」

左詰めで記入してください。英字はすべて大文字で記入してください。

◆学校情報(編入学前・進学前の学校)

※編入学後・進学後の学校と同系列校の場合でも、必ず記入してください。

●「学校名」、「学部・学科名等」

編入学・進学する前の学校を記入してください。

●「入学年月」

編入学・進学する前の学校の入学年月を記入してください。
高専の場合は、4年次に進級した年月を記入してください。

【給付様式7表】

新給付 編入学/認定専攻科進学/適格専攻科進学

給付奨学金継続願(編入学/認定専攻科進学/適格専攻科進学)

給付

独立行政法人日本学生支援機構理事長 様

下記のとおり編入学(又は認定専攻科・適格専攻科に進学)しましたので、引き続き給付奨学金の継続をお願いします。
なお、給付奨学金の継続を願い出るにあたり、私は、給付奨学金申請書提出時に同意した内容についても、引き続き承諾したうえで提出します。

●奨学生記入欄(漏れなくすべて記入又は選択してください。また、年月日の年は西暦で記入してください。)

◆基本情報

※表面も記入してください。

本人が氏名 姓 名 ヨウケウ ケウ	生年月日 西暦年 月 日 2 0 0 4 0 5 0 1	誕生日 西暦年 月 日 2 0 2 6 0 4 1 0
本人漢字氏名 姓 名 奨学 太郎	支給を受けていた給付奨学生番号 5 2 4 0 8 9 9 1 2 3 4	性別(任意) 国籍 男・女 日・外国 1 3 1 0
本人現住所 〒 1 6 2 - × × × × × 東京都新宿区 × - × - ×	本人通住所 〒 0 3 - × × × × - × × × × × 0 8 0 - × × × × - × × × × ×	在留資格 国籍「0」日本以外の場合、該当の数字に○ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 永住者 特別永住者 日本人の配偶者等 永住者の配偶者等 定住者 家族滞在
在留資格 在留資格「日本人の配偶者等」2.永住者の配偶者等「4.定住者」3.家族滞在 西暦年 月 日 2 0 2 8 1 1 1 1	永住の意思 在留資格「定住者」又は「家族滞在」の場合、該当の数字に○ 1 0	

◆学校情報(編入学前・進学前の学校) ※本人姓内は、本人姓担当者が記入してください。

学校番号 1 0 9 9 9 0	学校名 日本学生支援大学	学部 経済学部経済学科	編入学年月 西暦年 月 日 2 0 2 6 0 4 3	編入学年次 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
区分 1 0 9 9 9 0	学部・学科コード 1 0 9 9 9 0	学級番号(左詰め記入) 1 2 3 4 5 6 7 8 A	在留資格 国籍「0」日本以外の場合、該当の数字に○ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	在留資格 国籍「0」日本以外の場合、該当の数字に○ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
給付期間 西暦年 月 西暦年 月 2 0 2 6 0 4 2 0 2 8 0 3	給付期間 西暦年 月 西暦年 月 2 0 2 6 0 4 2 0 2 8 0 3	在留資格 国籍「0」日本以外の場合、該当の数字に○ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	在留資格 国籍「0」日本以外の場合、該当の数字に○ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	在留資格 国籍「0」日本以外の場合、該当の数字に○ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
認定専攻科 認定専攻科 立派な認定専攻科 立派な認定専攻科	認定専攻科 認定専攻科 立派な認定専攻科 立派な認定専攻科	認定専攻科 認定専攻科 立派な認定専攻科 立派な認定専攻科	認定専攻科 認定専攻科 立派な認定専攻科 立派な認定専攻科	認定専攻科 認定専攻科 立派な認定専攻科 立派な認定専攻科

◆学校情報(編入学前・進学前の学校) ※本人姓内は、本人姓担当者が記入してください。

学校名 支援短期大学	学部・学科名等 商業科	入学年月 西暦年 月 日 2 0 2 4 0 4	卒業(修了)進学年月 西暦年 月 日 2 0 2 6 0 3
---------------	----------------	--------------------------------	--------------------------------------

◆国費による支援

あなたが、現在、以下の支援を受けていますか(ハローワークや役所からあなたが受けている給付金があれば、該当するものが必ず確認してください)。

●教育訓練支援給付金 ●訓練延長給付金 ●技能習得手当及び習得手当
●職業訓練受講給付金 ●高等職業訓練促進給付金 ●職業転換給付金

※右の「支援を受けている」に○をつけた場合は、あなたが受けている国費による支援の開始年月と終了年月を記入してください。
※国費による支援の終了にあたっては、別添「国費給付金受給状況調査票(給付様式7の添付用紙)」を提出する必要があります。
また、編入学をした次月に国費による支援を受ける場合も当該届出が必要です。

支援を受けている(該当の場合に数字に○)	1
上の支援を受けているに○をつけた場合は、あなたが受けている国費による支援の開始年月と終了年月を記入してください。	
国費支援開始年月	西暦年 月 日
国費支援終了年月	西暦年 月 日

◆支給停止希望

次に例示する理由等により、編入学月・専攻科からの支給の停止を希望しますか。

●海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある。
●他団体の奨学金の利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が不可であるため、支給を停止する必要がある。

支給停止を希望する(該当の場合に数字に○)	1
上の「支給停止を希望する」に○をつけた場合は、給付奨学金の支給停止を希望する理由を選択してください。また、「その他」の場合は()に理由を記入してください。	
該当の数字に○	1 2 3

◆資産額

あなたと生計維持者(原則父母)の資産の額をそれぞれ記入してください(1万円未満切り捨て)。

資産額が90万円の場合や生計維持者が存在しない場合は、空欄とせず「0」を記入してください。

あなた	0	生計維持者	100	合計	150
-----	---	-------	-----	----	-----

資産額が基準額(生計維持者の人数にかかわらず300万円未満、多子世帯の場合は、生計維持者の人数にかかわらず300万円未満、50万円未満)を超過している場合は継続できません。
継続希望年度で2025年度一択採用申込期間中の場合は、2025年度二択採用以降に都府県申込(2025年度二択採用申込期間中の場合は、2027年度一択採用以降に都府県申込)してください。

※記入例を必ずご覧のうえ記入してください。

採用後 (26.04) 郵送必須 スの3桁入力不可

給付奨学金継続願(編入学/認定専攻科・認定専攻科進学) 裏面 【記入例】 (抜粋)

◆「自宅・自宅外通学」
 説明文をよく読んでうえで該当にチェックを入れてください。

◆「振込口座」
 ※「(共通)様式7資料裏」を参考にしてください。

●「金融機関名」
 ゆうちょ銀行以外の場合は、振込を希望するあなた本人の口座の金融機関名を記入してください。
 なお、「銀行」「信用金庫」「労働金庫」「信用組合」は記入不要です。いずれかにマルを付けてください。

●「店名」
 振込を希望するあなた本人の口座の金融機関の店名を記入してください。
 なお、「支店」「出張所」は記入不要です。「本店営業部」「代理店」などの場合はカッコに記入してください。

●「金融機関コード」「店番号」
 通帳等で金融機関コード・店番号を確認のうえ記入してください。

●「口座番号」
 右つめで記入してください。

●「ゆうちょ銀行(記号・番号)」
 ゆうちょ銀行の場合は、記号・番号のみを右つめで記入してください。金融機関名、店名等の記入は不要です。

◆「生計維持者の扶養する「子ども」の人数及び本人扶養状況」
 ①別紙[給付様式7資料 扶養]を確認のうえ、生計維持者が扶養する「子ども」の数を記入してください。
 ②生計維持者に扶養されているかどうか、該当の項目にチェックを入れてください。

なお、生計維持者に扶養されていない場合は、多子世帯と判定されません。
 ※記載した情報は、次の支援区分見直し時の判定に使用します。

◆「生計維持者の変更」
 該当の数字にマルを付けてください。
 「1.あり」の場合、生計維持者の情報(姓、生年月日、住所)を変更する場合は、
 該当の項目にチェックを入れたうえで生計維持者の新しい情報を記入してください。その際、変更のない項目、
 情報変更のない生計維持者の情報もすべて記入してください。

◆「重要事項確認(必須)」
 内容を必ず確認のうえ、すべてにチェックを入れてください。チェックができない場合は、継続ができません。

●「学校記入欄」
 学校担当者の記入欄です。申込者は記入不要です。

【給付様式7裏】 新給付 編入学/認定専攻科進学/通格専攻科進学

●疫学生記入欄
 ●自宅・自宅外通学

該当の項目に記	<input type="checkbox"/> 自宅外通学(又はそれに準ずる) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅外通学	※1. 自宅外通学の要件 ①実家は生計維持者(いずれも居住者)から大学等までの距離が片道の半キロメートル以上(目安) ②実家から大学等までの通学時間が片道(10分以上)(目安) ③実家から大学等までの通学費が月(万円以上)(目安) ④実家から大学等までの通学時間が片道の半分以上であり、通学経路等に利用可能な交通機関の運行本数が1時間あたり以下(目安) ※その他を指す特別な事情により、卒業との関連で、実家からの通学が困難である場合
上記期間で「自宅外通学」を選択した場合、「通学形態変更届(自宅外通学)」(給付様式35)に自宅外通学を証明する書類を添付して、学校へ提出する必要があります。 ※「富否が通学」を選択する場合は、富否は自宅外通学の支給開始期が異なります。自宅外月額での戻込みは、自宅外通学証明書類を提出し、不備なく審査終了した後にとなります。また、自宅外月額と審査終了後に戻込み済みの自宅外月額との差額も振り込まれます。		

●振込口座 ※ゆうちょ銀行の場合は、記号・番号のみ記入してください。また、口座番号・記号・番号を記入する際は、本欄を必ずめて記入してください。

金融機関名 (ゆうちょ銀行以外)	三友UFJ	金融機関コード	0005	預金種目	普通(総合)
高名 (ゆうちょ銀行以外)	関東東京	店番号	999	口座番号(ゆうちょ)	1234567
ゆうちょ銀行(記号・番号)	1	0	0	1	

●生計維持者の扶養する「子ども」の人数及び本人扶養状況

生計維持者が2025年(12月31日)時点で扶養している「子ども」の数	3	本人扶養状況	該当の項目に記	扶養されていない	<input type="checkbox"/>	扶養されている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------------	---	--------	---------	----------	--------------------------	---------	-------------------------------------

●生計維持者の変更
 ・「2025年4月の在籍報告(10～3月の間に編入学・進学する者は2026年4月の在籍報告)」時点と比較し、変更の有無を記入してください。
 ※選択する前に「提出確認シート」を参照してください。

人物の変更・人物の情報の変更	該当の数字に記	なし	0	あり	1
----------------	---------	----	---	----	---

「なし」の場合、以下の黒い太枠内の記入は不要です。

※項目に変更があった場合でも、黒い太枠内の欄全てを記入・選択してください。情報に変更がない生計維持者の欄も必ず全て記入・選択してください。

生計維持者1の情報を記入してください。※情報の変更のみで人物は変わらない場合も、すべての項目を漏れなく記入してください。	姓(姓)名	シヨガク 花子	生年月日	19700610	続柄	母
姓(姓)名	シヨガク 花子	生年月日	19700610	続柄	母	
姓(姓)名	シヨガク 花子	生年月日	19700610	続柄	母	

◆重要事項確認(必須)
 給付奨学金の継続申請にあたって、以下の事項をすべて確認し、確認後、「はい」にチェックをつけてください。

確認事項	はい(理解している)
1. 右中学の卒業成績や家計状況が適否を満たさない場合、給付奨学金を受けられなくなることがあります。	はい
2. 奨学金支給中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が止まる可能性があります。	はい
3. やむを得ない理由がなく卒業成績が著しく不振の場合等、給付奨学金でも返還が必要になることがあります。	はい
4. 給付奨学金の支給額は、毎年1月に、あなたの世帯の家計状況に応じて見直されます。	はい
5. 返還の申告で給付奨学金を得た場合は、受け取った金額の100分の140を返金しなければならないことがあります。	はい

●学校記入欄(漏れなくすべて記入又は選択してください)
 上記のとおり、編入学により本学に転入し又は認定専攻科・通格専攻科進学したことを証明し、願い出は適当と認めます。

(転入校の証明) 2026年4月20日

学校名 日本学生支援大学
 学校長 機構 太郎

【注】書面◆学校情報(編入学後・進学後の学校)の該当箇所(「学校番号」・「学校区分」・「学部」・「学科」コード)・「給付給額」及び「給付続期」を必ず記入してください。
 【注2】「自宅外通学」を選択する場合、「通学形態変更届(自宅外通学)」(給付様式35)は以下の①②のとおり取り扱ってください。
 ①「奨学金番号」・「採用継続審査決定通知登録番号」・「進学届入力日」欄は必ずしも記入不要です。
 ②「採用継続審査」に本欄と併せて提出してください。

電話番号 (担当責任者氏名) 03-XXXX-XXXX(シエン)

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務及び奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。